

柑芦会 本部 ニュース

第 19 号 2021. 2. 1.



国立大学法人
和歌山大学

—そして ここから—



1. 寄稿—①



コロナ禍の中で新年を迎えて

和歌山大学経済学部

教授 大澤 健

2021 年が始まりましたが、2020 年はコロナに翻弄された 1 年となりました。まだ過去形ではなく現在進行形ですが、大学も大きな影響を受けています。

各種報道によってご存じの通り、大学の講義は原則的に遠隔（リモート）授業に切り替えられています。遠隔授業のやり方はいろいろあるのですが、講義タイプの授業で和歌山大学が推奨する方法は、パワーポイントにナレーションを入れたものをオンデマンドで提供するというやり方です。要は、デジタル紙芝居に教員の肉声を録音して、学生がいつでも見られる状態で講義を提供するというものです。これが想像以上にたいへんでした。パワーポイントの資料を作るのは何とかなるのですが、ナレーションが予想外の難行でした。学生の反応を見ることもなしに、パソコンの前で紙芝居を操作しながら一人でブツブツと無機物に語りかけるわけで、どうしても途中で詰まったり、言葉を間違えたりします。いつかは慣れるはずだと思いながら作業をしているのですが、今でも全く慣れません。教室での学生のリアクションはやはり大事です。

ただ、教員の負担はともかくとして、こうした授業で学生の学習意欲が継続できるかどうかは大きな懸念事項でした。私の担当は「経済原論」という遠隔授業にあまり向いているとは言えない科目です。なるべく興味を喚起するような授業にしようと、遠隔授業の特性を活かして、各種の動画やウェブページへの参照注を付けたり、イラストを駆使して物語風に見えたりとあれこれ手探りをしています。それによって学習効果が高まっているかどうかはわかりませんが、こうしたタイプの講義に学生は意外と早く順応しているように思います。提出されている小テストからも、ちゃんと講義に取り組んでいることが分かります。学生の真面目さは和歌山大学の貴重な財産だと改めて実感しています。

また、2020 年度の前期はゼミも遠隔で行いました。こちらはテレビ会議システムを使って、ライブで議論します。今は、便利な道具のおかげでかなりリアルな議論ができることを知りました。もちろんゼミは対面で行う方が良いのですが、これはこれでなかなか興味深いものです。というのも、私のゼミで

は通常は3名ずつでのグループワークを学生にさせていて、私は外から様子を見るだけでした。今回、遠隔授業のおかげで初めて学生同士の話し合いを内部から見ることができました。この手の文明の利器への適応スピードは彼らの方が格段に速く、モニター越しでもきちんとコミュニケーションしながらレベルの高い議論をしている学生に驚きました。また、私が操作に戸惑っていると、「先生、画面の右上に〇〇があるんで、そこを開いて設定を解除してください」などと教えてくれます。老いたつもりもないのですが、こういう場面では子に従うことにしました。

そんなわけで、まだまだ先が見えない状況が続きますが、こんなことがなければ経験できなかったことも多くあります。新しい挑戦をなるべく楽しみたいと自分に言い聞かせながら、デジタルネイティブの学生の頼もしさを実感する1年でした。

1. 寄稿—②



ご 挨拶

柑芦会副会長・大阪支部長

奥山 泉（大15）

生まれは伊勢神宮の旧参宮街道沿いの片田舎（現地名は三重県多気郡明和町明星）で、両親は参宮客相手の土産品（煙草入れ、硯、筆立て、水玉など）の製造卸売りやアクセサリーの仲買をしつつ、男児3人を育ててくれました。

私はすぐ上の兄とは11歳離れた末っ子で、兄たちに言わせれば甘やかされていたらしいのですが、本人にしてみれば、小学生になるかならないかの頃から和太卒業まで上記生業を手伝い続けてきた一端の働き手という意識でした。

和歌山大学では、紀雲寮での4年間と浅野ゼミでの2年間で自分をさらけ出せるかけがえのない友人たちとの繋がりを得ることができ、その後の人生での貴重な財産になっています。

入社した塩野義製薬株式会社では上司や同僚に恵まれ、それなりの業績で定年を迎えることができました。OB会である「シオノギ会」では10年近く前に会計幹事を仰せつかり今に至っています。

そのほか、定年退職後にキャリアコンサルタント仲間と立ち上げた「NPO法人キャリアスイッチ」でシルバーエージやプラチナエージの支援をしたり、和太CDOで学生の就活支援をしたり、JASSのイベントに参加して足腰と脳みそのメンテナンスをしたり、未だにゴソゴソ動きまわっています。

さて、今後の柑芦会に関して希望することは、役員に若い世代と女性がどんどん就任していただけること、各委員会やイベントにどんどん参加していただける、そういう環境づくりを進めていくことが喫緊の課題だと考えています。

幸い、由井さん夫馬さんと二人の女性が大阪支部事務局を担当していただけることになり嬉しい限りです。

これを嚆矢として後進が続いてくれることを切に願って、拙文を終わります。

2. 本部情報

大阪支部 第31回柑芦経済講演会のご案内

※案内状をそのまま掲載いたします。参加ご希望の方は、末尾の大阪支部アドレスをクリックして、所定事項を記入してお申し込みください。

2021年1月18日

柑芦会会員各位

大阪支部長 奥山泉
経済講演会実行委員会
(後援：柑芦会本部)

第31回柑芦経済講演会のご案内

拝啓 日頃は柑芦会大阪支部の諸活動に格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。昨年度は残念ながら中止となりましたが、今年度の「第31回柑芦経済講演会」は、コロナ禍の感染拡大を防ぐ策として、初めてオンラインで開催することになりました。何卒万障繰り合わせの上、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

国立大学法人の置かれた状況について大きな曲がり角にあることをマスコミが頻繁に報道する中で、和歌山大学がどの方向へ向かうのか、さらに今後の大学行政の在り方についても、卒業生としては大変関心の高いものがあります。伊東学長は大学改革について大変意欲的であり、和歌山大学だけではなく今後の国立大学の方向性の一端もお示しいただけるものと期待しております。

敬具

柑芦経済講演会

1. 開催日：2021年2月27日(土) 受付：12:30～ 講演会開始：13:15 終了：15:15
2. 講演者：和歌山大学 学長 伊東千尋氏
3. 演 題：『和歌山大学の現況と今後の展望』（仮題）
4. 開催方法：オンライン会議システム【zoom】で開催

メールが受信できるパソコンやスマートフォンでご覧になれます。開催日までに zoom 接続テストを数回実施いたします。ご自宅等から接続できるかどうかを確認できます。

○zoom 接続テスト日時○

第1回：1月27日(水) 14:00～15:00

第2回：2月6日(土) 16:30～17:30

第3回：2月9日(火) 11:00～12:00

第4回：2月12日(金) 17:00～18:00

第5回：2月21日(日) 13:00～14:00

※上記のいずれか1回にご参加いただければ結構です。※時間中の出入りは自由です。

5. 参加費：無料 参加可能人数：80名まで（先着順） 締切日：2月3日

※zoomのID配布数に上限がありますので先着順とさせていただきます

6. 申込方法：以下①～⑥を記入し大阪支部メールまでお申し込みください。 osaka@kourokai.com

① 氏名

- ② 卒業期
- ③ Zoom 参加可能メールアドレス
- ④ 使用端末： パソコン / スマートフォン / タブレット端末 (いずれか選んでください)
- ⑤ 事前接続テスト： 希望する ・ 不要 (いずれか選んでください)
- ⑥ 接続テストに参加される方は上記の日程からお選びください

※先着順に申込受付した方に後日メールで受付番号と接続方法をお知らせいたします。

お問い合わせ先 柑芦会大阪支部事務局 由井(ゆい)・夫馬(ふま)
TEL 06-6941-4986 メールアドレス osaka@kourokai.com

橋本一男様（大 10・元東海支部長）自費出版



書名：「コロナに明け暮れた一年の記録」

豪華客船横浜港着岸の2月から「我慢の三日、勝負の三週間」の12月までの一年に亘っての記録を整理し、独自の視点からまとめたものを製本化されました。「一年を限度」にとの思いで綴った手記がもとになっているそうです。

橋本様は、「多くの方に読んで頂くとうれしい」と言っておられます。

柑芦会本部・大阪支部事務所に若干数備えておりますので、回し読みにはなりますがお送り致します。ご関心のある方は御連絡下さい。(先着順)

柑芦会 本部・大阪支部事務所 宛

和歌山大学経済学部同窓会 柑芦会 本部 事務局

〒540-0012 大阪府中央区谷町 4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町 207 号

Tel: 06-6941-4986 Fax: 06-6947-7925

E-Mail: honbu@kourokai.com URL : <http://www.kourokai.com/honbu/>



こうろかい

検索



フェイスブック

ホームページ「柑芦会」

「柑芦会オフィシャルグループ」
